

障がい福祉計画アンケート

対象者	（調査票送付者）	228
回答者	（11月27日～12月20日受付分）	150
回答率		65.8%

Q 1 お答えいただくのは、どなたですか。（○はひとつ）		件数	割合
1	本人	77	51.3
2	家族や介助者	26	17.3
3	その他	45	30.0
	無回答	2	1.3
合計		150	100.0

Q 2 性別はどちらですか。（○はひとつ）		件数	割合
1	男性	93	62.0
2	女性	57	38.0
	無回答	0	0.0
合計		150	100.0

Q 3 年齢は何歳ですか。（11月1日現在）（○はひとつ）		件数	割合
1	18－19歳	0	0.0
2	20－29歳	18	12.0
3	30－39歳	22	14.7
4	40－49歳	46	30.7
5	50－59歳	30	20.0
6	60歳以上	34	22.7
	無回答	0	0.0
合計		150	100.0

Q 4 手帳、受給者証の種類。(○は全て)		件数	割合
1	身体障害者手帳	69	34.5
	視覚 計	0	0.0
	聴覚 計	1	0.5
	聴覚 1 級	1	0.5
	聴覚 2 級	0	0.0
	聴覚 3 級	0	0.0
	聴覚 その他	0	0.0
	音声 計	1	0.5
	音声 1 級	1	0.5
	音声 2 級	0	0.0
	音声 3 級	0	0.0
	音声 その他	0	0.0
	肢体 計	29	14.5
	肢体 1 級	10	5.0
	肢体 2 級	4	2.0
	肢体 3 級	6	3.0
	肢体 その他	9	4.5
	内部 計	9	4.5
	内部 1 級	6	3.0
	内部 2 級	0	0.0
	内部 3 級	1	0.5
	内部 その他	2	1.0
	その他 計	29	14.5
	その他 1 級	7	3.5
	その他 2 級	6	3.0
	その他 3 級	1	0.5
	その他 その他	15	7.5
2	療育手帳	76	38.0
	A 判定	45	22.5
	B 判定	31	15.5
3	精神障害者福祉手帳	19	9.5
	1 級	0	0.0
	2 級	9	4.5
	3 級	10	5.0
4	自立支援医療受給者証	35	17.5
	無回答	1	0.5
合計		200	100.0

Q 5 どこで生活をしていますか。(○はひとつ)		件数	割合
1	自宅	67	44.7
2	借家・公営住宅	23	15.3
3	グループホーム・福祉施設	50	33.3
4	その他	6	4.0
	無回答	4	2.7
合計		150	100.0

Q 6 現在、どのように暮らしていますか。(○はひとつ)		件数	割合
1	一人で暮らしている	17	11.3
2	家族と一緒に暮らしている	76	50.7
3	仲間と共同生活をしている(グループホームなど)	20	13.3
4	病院へ入院している	3	2.0
5	その他	31	20.7
	無回答	3	2.0
合計		150	100.0

Q 7 今後、どのように暮らしたいですか。(○はひとつ)		件数	割合
1	一人で暮らしたい	17	11.3
2	家族と一緒に暮らしたい	78	52.0
3	仲間と共同生活をしたい(グループホームなど)	18	12.0
4	その他	5	3.3
5	わからない	27	18.0
	無回答	5	3.3
合計		150	100.0

Q 8 グループホームを希望する時期。(○はひとつ)		件数	割合
1	1年以内	0	0.0
2	1～3年後	2	11.1
3	4～6年後	0	0.0
4	7～10年後	0	0.0
5	わからない	4	22.2
6	その他	0	0.0
	無回答	12	66.7
合計		18	100.0

Q 9 どんなときに生きづらさを感じましたか。(○は3つ)		件数	割合
1	感じたことはない	47	15.8
2	学校や教育に関すること	5	1.7
3	役場や金融機関などでの手続き	18	6.1
4	病院や福祉のサービスを利用するとき	12	4.0
5	外出や移動のとき(交通機関の利用)	31	10.4
6	お店などでの買い物のとき	20	6.7
7	レストランや喫茶店などで飲食のとき	14	4.7
8	仕事や就職活動に関すること	29	9.8
9	遊びやサークルなどの余暇活動のとき	19	6.4
10	福祉などに関する情報収集	8	2.7
11	コミュニケーションや人間関係	45	15.2
12	障がい者への差別や偏見	30	10.1
13	恋愛や結婚に関すること	6	2.0
14	その他	8	2.7
	無回答	5	1.7
合計		297	100.0

Q10 生きづらさを感じた状況について、具体的に教えてください。

性別	年代	回 答
女性	40	自分の体に合わせた仕事がなかなかない。
女性	20	見た目では健常者と変わらないため、障害の辛さを理解してもらえない。精神障害者は公共交通料金の割引が少ないが、薬の関係で運転が出来ず、時間とお金をかけて通院や通所をしなければならない。役場での手続きの時、沢山の事を同時に言われると混乱してしまうが、自分の気持ちを上手く表現できないため、よくわからないまま事が進んでしまう。
女性	40	月に2回、病院から自宅へ一時帰宅で社協の移送バスを利用しているが、夏暑く冬寒い（ヒーター・クーラーが無い）ので、特に冬期間は利用したくない。
男性	40	コミュニケーション。以前会社で働いていたのですが、意見意思を伝えることがむずかしく仕事をやめました。福祉のサービスが何を受けられるかわからない。福祉のサービスの話をなぜしてくれないのか疑問です。自分から聞かないと教えてくれないのはおかしい。
男性	50	保健所などの手続きがめんどうだ。
男性	30	自分が重たい荷物を運んでいる時、遠い所から笑いながら見られている時
女性	50	普通の人ができることが、私にはできないことで生きづらくなったことがある。どうして自分にはできないのかなと、悩み死にたく今でもなることがある。
男性	20	話の内容がわからないことがある。
男性	40	常を感じています。サポートがないと暮らすことが苦しいのですが、行政など含め何も無いし、とても困っています。無理して生きる必要あるんですかね？
女性	60	変な目で見られる。
女性	30	男性不信なので、近づいてくる男性が苦手。
女性	60	役場保健福祉課に行った時、手帳を失くして前もってTELして聞いたとおり書類を用意して行ったのにもかかわらず、写真がないからすぐ手続きできないと対応が悪く、何度もここに行かなくちゃならなくて嫌だった。
女性	50	現在は無職だが、就職活動をする時に通院日に合わせた休日や、通院後の体調によっては出勤できない可能性があるため、月に半分くらいしか働けない事を説明した上で雇用してくれる企業が少ないというかない。余暇活動においても体調次第なので、決められた日に外出が出来ない事があり、積極的に参加する気持ちになれずにいる。
男性	30	飲食店等でバリアフリー対応がされていない。
男性	40	就職活動をするとしたら、病歴を会社に知らせるべきか悩む。異性に病気のことを知らせるべきか困る。
男性	50	入退院が多く仕事に支障が出るので難しい。
女性	60	話が相手に伝わりにくい。
男性	30	⑤JR利用時の連絡等。地元以外でのタクシー利用（嫌がられる。手帳があるなら先に言え等）⑦車イスを利用する事の確認やトイレの形状等で利用できる店を事前に調べなくてはならない。⑩初めての人とはなかなかコミュニケーションが取れない（発言がほとんど無いため）
男性	40	タクシー券をもらっても、町内に介護タクシーがない。
男性	20	色々な手続きやサービスを利用する時の仕方。自分で免許がないから。交通機関を利用したいが無い。
男性	40	わたくしにとっては生きづらさ（ストレス）は2割程度です。

男性	40	朝起きる時、学校・職場・通勤通学で眠い時、列車で立っている時、仕事でミスをした時、職場で寒い時、飲みたくない薬を強制的に飲ませられる時、暴力を受けた時、入院するのが不安な時、知人や父がパソコンを使っている時、寝たきりになるのが不安な時、周囲に不満怒りを感じる時、入院中米飯を減らしてもらって長い間、腹を空かしていた時、家族でテレビを見ている時。
男性	60	下肢障害のため階段の上り下りが辛い。正座が出来ないため、椅子席が無い施設の利用が厳しい。早く歩けないため、人込みが怖い。冬道も滑るためバランスを取りにくい。
女性	30	病気で仕事をしていないことを、友達や初めて会う人に言いづらいので、人が集まる場所へ行きづらくなる。
男性	30	小中高校時代、同級生とのコミュニケーションや対人関係を築く事が苦手で孤立していることが多かった。それが原因でイジメにあった。仕事に就くために面接を受けても、自分の考えをあまり伝えられなかったり、過度に緊張して顔がひきつり、相手を不快な思いにさせることが多かった。仕事に就けても、職場での対人関係がうまくいかず「笑顔がない、無愛想だ」と思われて職場に居づらくなり自分から辞めてしまう。
女性	40	学生時代、病気が発生してからいじめられた事など。
男性	40	古い公住は、バリアフリーではない！術後、お風呂に入るのにとても苦労した。
男性	60	20代後半より障がい（てんかん）に対して国・道・管内行政機構よりの行動、情報提供たる事例がなく50代の時、JA納税組合事務の方より国年の支払い金を免除に、国年60才より受給の月4万に対して帯広国年事務所との交渉を持ち、現在国年より障害基礎へ移行。
男性	50	家族と一緒に暮らしているけど、独りになったらどうしたらいいか。
男性	20	言葉で相手に伝えようとする時に、上手く伝えられないことがあるようです。職場で自分のミスではないことを注意されても、きちんと「違う」と言えない。

Q 11 現在の悩み事は何ですか。（○は全て）	件数	割合
1 病気や障がいのこと	61	20.9
2 家族や地域での人間関係のこと	24	8.2
3 介助や介護のこと	9	3.1
4 家事のこと	17	5.8
5 住まいのこと	13	4.5
6 仕事や就職に関すること	26	8.9
7 経済的なこと	29	9.9
8 外出や移動のこと	27	9.2
9 緊急時や災害時のこと	35	12.0
10 その他	3	1.0
11 特にない	41	14.0
無回答	7	2.4
合計	292	100.0

Q 12 悩み事の相談相手は誰ですか。（○は全て）	件数	割合
1 家族や親戚	80	37.0
2 友人や知人	18	8.3
3 医療機関	27	12.5
4 学校・職場	6	2.8
5 役場の保健師や職員	31	14.4
6 民生委員・児童委員	3	1.4
7 誰にも相談できない	8	3.7
8 その他	36	16.7
無回答	7	3.2
合計	216	100.0

Q 13 情報収集の方法は何ですか。（○は全て）	件数	割合
1 インターネット	21	6.6
2 スマートフォン（携帯電話）	18	5.7
3 テレビ	39	12.3
4 新聞	33	10.4
5 広報しみずやお知らせ版	33	10.4
6 家族や親戚	29	9.1
7 友人や知人	17	5.4
8 役場などに置いてあるパンフレットや掲示物	11	3.5
9 医療機関の職員（医師、看護師、相談員など）	30	9.5
10 学校の先生やサービス事業所などの職員	29	9.1
11 団体や病院で知り合った仲間	7	2.2
12 役場の保健師や職員	31	9.8
13 その他	13	4.1
無回答	6	1.9
合計	317	100.0

Q 14 どのサービスを利用していますか。（○は全て）		件数	割合
1	居宅介護	2	1.2
2	移動、行動支援	7	4.1
3	デイサービス・日中一時支援・地域活動支援センター	14	8.3
4	就労支援	17	10.1
5	短期入所	3	1.8
6	グループホーム	18	10.7
7	施設入所	36	21.3
8	利用していない	62	36.7
	無回答	10	5.9
合計		169	100.0

Q 15 今後どのサービスを利用したいですか。（○は全て）		件数	割合
1	居宅介護	4	2.3
2	移動、行動支援	10	5.7
3	デイサービス・日中一時支援・地域活動支援センター	10	5.7
4	就労支援	17	9.8
5	短期入所	3	1.7
6	グループホーム	18	10.3
7	施設入所	43	24.7
8	利用の予定はない	61	35.1
	無回答	8	4.6
合計		174	100.0

Q 16 成年後見制度を知っていますか。（○はひとつ）		件数	割合
1	名前も内容も知っている	28	18.7
2	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	46	30.7
3	名前も内容も知らない	71	47.3
	無回答	5	3.3
合計		150	100.0

Q 17 成年後見制度を活用したいですか。（○はひとつ）		件数	割合
1	活用したい	6	4.0
2	今は必要ないが、将来必要になったら活用したい	33	22.0
3	活用したいと思わない	15	10.0
4	わからない	91	60.7
	無回答	5	3.3
合計		150	100.0

Q 18 差別や嫌な思いをしたことがありますか。（○はひとつ）		件数	割合
1	ある	25	16.7
2	少しある	56	37.3
3	ない	65	43.3
	無回答	4	2.7
合計		150	100.0

Q 19 どのような場所で差別を経験しましたか。(○は全て)	件数	割合
1 学校・仕事場	20	14.4
2 仕事を探すとき	13	9.4
3 外出先	44	31.7
4 余暇を楽しむとき	26	18.7
5 病院などの医療機関	9	6.5
6 福祉施設・サービス事業所	3	2.2
7 住んでいる地域	21	15.1
8 その他	3	2.2
無回答	0	0.0
合計	139	100.0

Q 20 障害者差別解消法を知っていますか。(○はひとつ)	件数	割合
1 名前も内容も知っている	12	8.0
2 名前は聞いたことがあるが内容は知らない	48	32.0
3 名前も内容も知らない	86	57.3
無回答	4	2.7
合計	150	100.0

Q 21 差別を無くすために必要なことは何ですか。(○は3つ)	件数	割合
1 相談窓口、通報体制の整備	81	33.5
2 暴力を受けた方の一時保護制度の整備	26	10.7
3 差別や嫌がらせ、暴力などに関する広報の充実	33	13.6
4 関係機関の職員に対する教育・研修の充実	72	29.8
5 その他	15	6.2
無回答	15	6.2
合計	242	100.0

Q 22 災害の際、一人で避難できますか。(○はひとつ)	件数	割合
1 避難所を知っており、一人で避難できる	63	42.0
2 避難所は知っているが、一人で避難できない	27	18.0
3 避難できない	51	34.0
4 その他	7	4.7
無回答	2	1.3
合計	150	100.0

Q 23 災害の際の不安は何ですか。(○は全て)	件数	割合
1 災害の状況が伝わってこない場合の不安	65	26.3
2 避難する際の不安	67	27.1
3 避難先での不安	81	32.8
4 その他	5	2.0
5 特にない	9	3.6
6 わからない	16	6.5
無回答	4	1.6
合計	247	100.0

Q 24 災害の際、必要なことは何ですか。（○は全て）	件数	割合
1 災害時の情報が早く知りたい	80	24.5
2 避難場所への移動を手伝ってほしい	38	11.7
3 避難場所でのコミュニケーションの支援をしてほしい	49	15.0
4 避難場所に障がい者用トイレの設備がほしい	53	16.3
5 入浴、トイレ、食事などを手伝ってほしい	35	10.7
6 薬や医療の確保をしてほしい	58	17.8
7 その他	9	2.8
無回答	4	1.2
合計	326	100.0

Q 25 現在、仕事をしていますか。（○はひとつ）	件数	割合
1 している	58	38.7
2 していない	92	61.3
無回答	0	0.0
合計	150	100.0

Q 26 どこで働いていますか。（○はひとつ）	件数	割合
1 会社などで正社員（一般雇用）として働いている	17	29.3
2 会社などで正社員（障がい者雇用）として働いている	8	13.8
3 会社などでアルバイト・パートとして働いてる	9	15.5
4 施設・作業所などで働いている（福祉的就労）	17	29.3
5 自営業者	5	8.6
6 内職・自営業のお手伝い	1	1.7
7 その他	0	0.0
無回答	1	1.7
合計	58	100.0

Q 27 働いてない理由は何ですか。（○は3つ）	件数	割合
1 年齢のため	21	11.4
2 仕事をする必要がない	4	2.2
3 家事・育児・介護のため	4	2.2
4 障がいが重い、病弱なため	35	18.9
5 休職中または職業訓練中	7	3.8
6 賃金が低いなど労働条件が悪い	2	1.1
7 自分に合う仕事がない	36	19.5
8 通勤が困難	7	3.8
9 障がい者について職場の理解度が低い	20	10.8
10 働くことが不安である	34	18.4
11 その他	14	7.6
無回答	1	0.5
合計	185	100.0

Q 28 希望する職業形態は何ですか。(○はひとつ)		件数	割合
1	農業・林業・漁業	6	4.0
2	工場などでの製造	6	4.0
3	販売・接客	4	2.7
4	事務	10	6.7
5	自営業・家の仕事の手伝い	2	1.3
6	福祉事業所などでの作業	8	5.3
7	自宅でする仕事、在宅勤務、内職	11	7.3
8	その他	10	6.7
9	特にない	50	33.3
10	わからない	33	22.0
	無回答	10	6.7
合計		150	100.0

Q 29 障がいのある方に暮らしやすいまちですか(○はひとつ)		件数	割合
1	暮らしやすいと思う	30	20.0
2	どちらかという暮らしやすいと思う	47	31.3
3	どちらともいえない	47	31.3
4	どちらかという暮らしにくい	12	8.0
5	暮らしにくいと思う	7	4.7
6	その他	3	2.0
	無回答	4	2.7
合計		150	100.0

Q 30 障がいの支援で力をいれるべきことは何ですか。(○は5つ)		件数	割合
1	早期発見や初期段階での支援の充実	55	9.7
2	健康診断や健康教育など保健・医療サービスの充実	51	9.0
3	何でも相談できる窓口など相談支援体制の充実	57	10.0
4	各種サービスや制度、医療機関などの情報提供	37	6.5
5	自分の生活、財産、権利を守ってくれる制度の充実	25	4.4
6	ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	12	2.1
7	短期間世話をしてくれるショートステイ・日中一時支援事業所の充実	14	2.5
8	地域活動支援センター等の通所施設の充実	8	1.4
9	グループホームなど地域で暮らせる場所の充実	27	4.7
10	入所施設の充実	48	8.4
11	就学・学校教育に関する支援	5	0.9
12	就労支援・職業訓練の充実	24	4.2
13	移動支援の充実	11	1.9
14	町民への障がいに関する理解の促進	25	4.4
15	ボランティアの育成や活動、地域活動への支援の充実	3	0.5
16	災害時に備え、要援護者の把握、避難支援体制の充実	40	7.0
17	年金や医療面の経済的な援助の充実	44	7.7
18	公共施設や道路などのバリアフリー化	23	4.0
19	保健・医療・福祉・教育・就労など関係機関の連携強化	47	8.3
20	その他	1	0.2
21	特にない	10	1.8
	無回答	2	0.4
合計		569	100.0

Q 3 1 障がい福祉について、あなたや家族が思っていることを自由にお書きください。

性別	年代	回 答
男性	6 0	今のところ妻と二人で夏は家庭菜園・草刈り、冬は除雪をやっています。ボケないよう に経済の勉強を平日しています。保健センターの運動施設に手足の機能訓練が出来る ものがあればと思います。
男性	6 0	障がい者年金等経済的な充実を希望し、障害者でも暮らしやすい生活及び通院等で天候 もあるが公共交通機関の充実
男性	6 0	差別や嫌がらせ
女性	2 0	私は精神障害ですが、町内に精神科はないため町外へ通院しています。それに伴い、デ イケア施設もないため週5日、交通の便が悪いため片道2時間近くかけて通っています。 ＪＲに割引制度がないため多額のお金もかかります。前に私の通所している施設は、施 設通所交通費助成では非該当だと言われました。作業所等しか該当しないのでしょうか。 デイケア施設は社会復帰を目指す場所です。病院と社会との間を担っています。働くこ とを目標にしても、通所にお金がかかるため家族への負担も大きくなります。 (緑ヶ丘病院・デイケア) 障害に対する人々の認知度・理解度が低いのは子どもの頃か らの教育が充実していないからだと思います。子どもの頃に障害者への差別や偏見を一 度持ってしまうと後から障害を理解して一緒に生きていこうという考えを持つことは難 しいと思います。小中高生への障害に対する理解を深めるべきだと思います。医師や看 護士・保健師はもちろんのこと実際に障害を持つ当事者が話をするのも良いと思いま す。障害のせいで辛い経験をしてきた人は少なからず自分の経験を活かして誰かの役に 立てればと思っています。私もその一人です。
男性	6 0	充実・暮らしやすい町にしてほしいと思っている。
男性	6 0	障害者差別解消法はインターネットではわからなかった。(細かく知りたい)
男性	5 0	障がい者に対してまだまだ世間は偏見はありますが、清水町は大分穏やかな感じがしま す。高齢化社会になりますが今の学生が社会人になっても清水町は障がい者に対して温 かい目で見守られる様になってほしいと思います。
男性	4 0	どこに話をしたいのかわからない。自分で調べられない人はどうしたらいいのか。障 がいによって受けられるサービスを話してほしい。自分(家族)で申請しないとだめな ので詳しく教えてほしい。作業所で働いていますが、交通費助成してもらっているので 助かります。
男性	3 0	補助装具の相談を親身に考えてくれて本当に助かりました。
女性	5 0	私はタバコや火で発作が起きてしまう。役場の入り口や、いろんな所の入り口でタバコ を吸われると入れなくなる。御影支所がそうなので何回か入れなくなったことがあり、 終わるのをずっと待っていてイライラするし、自分が情けなく責めてしまう。しんど くなり、寝込んでしまいます。どうして入り口でタバコを吸うようにするのですか。よ く自分を責めてしまい相談する相手が夫しかいない。気軽に相談する相手が何人かいて ほしい。

男性	40	家族は関わりたくないから孤立している。嫌がらせのように強圧的な態度でくるので精神的に耐えられない。福祉のハンドブックを町は作っているが、言わないとくれない。対象者へ送付するべきでしょう。生活面・精神面含めた、保健師さんなどのサポートがまるでない。災害時にも障害のある方への配慮がなかった。問題になってはじめて動くみたいなことだった。町全体で様々な人がいるのだから、助け合うとか行政を中心にサポートするようにしないと住みづらいし生きづらいと思う。
女性	60	少しでも生活しやすい町にしてほしい。
女性	30	災害時、家の中でも過ごせたら男性不信の不安が減るので、地震などに強い住宅を建ててほしい。車イスの人も入りやすい店を作してほしい。
女性	50	障害者・障がい者、どちらにしてもその言葉表現こそが傷付ける要因になっているように思えて仕方ありません。健常者の反対語としてあるのが障がい者なのかもしれませんが、視力の低下した人が眼鏡をかけることや、声や音が聴き取りづらくなった人が補聴器を使うこと、歯の欠損やかみ合わせの悪さで義歯をつける等と、車椅子での移動、白杖や盲導犬、義手や義足の装着、ペースメーカーやストーマの造設等との差は何なのでしょう？どちらも、自分にとっての不都合を補助してくれる物として何ら変わらないのではないのでしょうか？「健常者が障がい者にしてあげられる事は何か？」と議論したり、理解や受容を深めるための講習会や研修会を行うことも確かに大切なのかも知れませんが、「気の毒な人」「可哀想な人」「助けてやらなくては駄目な人」と捉えず、家族や友人・知人あるいは上司や同僚、近所の人として接するのが一番良いのではないかと思います。
男性	40	障がい者でも、一般平均年収ぐらいの年収が働くことによって得られたらいいと思う。自立支援制度の自己負担額が減少すれば良いと思う。僕の場合、上限が1万円か2万円だと思ったが、帯広の友達は4千円位だった。上限だけでなく自己負担の割合も前のように0.5割になれば良い。
男性	50	財政面を考えると、今以上の事を望むのは厳しいと思うので現状維持を願いたいですね。
男性	40	現状（今）よりもっと新しいわたくしに生まれ変わりたいと思います。
男性	40	今は家族と暮らしているけれど、歳をとって家族に世話になれなくなった時に施設に入りたいと思いますが、そのためにはこれからどのような事（手続きなど）をしていけばよいか？など心配しています。
男性	40	安楽死を認めてほしい。
女性	40	障害者に対してのサービス提供を、障害者側から聞かないと教えてくれない。実際どんなサービスを受ける事ができるかなど担当者側からは教えてくれない。もっと、サービス提供を知らせる物を出してほしい。

男性	60	家族がいるうちは協力が得られるので何とか生活は出来るが、独りになったときを考えるとどうしたものかと怖くなる思いがする。銀行にも行かない病気になったら？独りで風呂に入れるのだろうか。買い物難民になるかも知れない…色々と頭をよぎる。福祉はどこまで助けになるのか、かゆい所に手が届くのか。今現在、障害のある独居老人（何とか独り暮らしの出来る）の行政の手助けとして、例えば銀行でお金を下ろしてスーパーで食材を買い物して届けてくれる。それだけでも、とても助かると思うが、行政サービスの一環として事業活動のひとつとして実施しようとした場合どうなのか。いろいろな支援体制がある中で、横断的なちょっとした支援がとても重宝すると思うが行政的には難しいのだろうか。返って意表をつくものだとするならば、小回りの効く支援活動（提供される側の視点に立った）を考えていただけると有難い。
女性	30	A型就労支援事業所の施設は、施設側がある程度の時間、日数をちゃんと利用者さんに働かせてあげられるようにということで福祉の法律がかわりました。施設側が利用者さんに少ししか働かせなくて、その分不当に利益を得ようとする事の防止ということにはわかりましたが、施設から少ししか働かせてもらえないのではなく、利用者側がそんなにたくさん働けないという人も沢山います。私が今回A型施設を辞めた理由の一つも、決められた時間、日数をこなせないからです。アルバイトやパート並みの日数・時間でも働くのが難しいからA型施設で働こうと思った人も沢山いるので、そこは見直してほしいです。（国に対しての意見ですが）もしくはA型に変わるような働ける場所があればいいと思います。一番いいのは、一般企業がもっと沢山障がい者を雇用することですが。
男性	60	身体障害者手帳は知っていましたが、精神障害者手帳の存在など知らず、40年間もたって本年存在を知り、自動車税（道税）が全額免除である事を知り、自動支払いより手帳を手し、帯広市合同庁舎内で記入までは支払いへと言われ一件の事例知り、手続きを個人行動で進めました。私として何のため町別館健康センターを作りながら町民に対して何を提供・サービス・管理等、内容不明であり、第5期福祉計画作成とありますが、私は初回記載となります。町民一人として更なる行政福祉への対応と今後をお示し下さい。
男性	50	親はだんだん歳をとってきます。腰も曲がり、これから先の事を毎日考えています。
男性	20	支援・サービスについて知らないことが多く、手帳などの手続きがずい分遅くなった。学校でも特別支援クラスにいたり、言葉の教室にも通っていたが、誰も教えてくれなかった。サービスや支援について簡単に知ることが出来るといいと思う。
女性	40	私自身、精神障害者で高齢の両親（78・76歳）と同居していますが、今後の事などについて相談できる窓口があるとうれしいです。管内に親戚はなく兄弟もいないので、ちょっと不安があります。